学校番号	3025

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　科学と人間生活　（数研出版）						
副教材等	「2026　セミナー化学基礎」（第一出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な現象の観察、実験などを行い、仮説から結果を検証していく力を養う。また、科学を愛する心情を育成する。「物理」、「化学」、「生物」、「地学」という４つの視点から、科学現象とはどのようなものなのか。また、科学の力を利用して、自然界をどのようにして守っていくのかについての必要な知識を学ぶ。これらの問題を常に意識して学び、科学を習得する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
身の回りにある様々な自然現象を理解するための「物理」「化学」「生物、「地学」のそれぞれの知識を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
さまざまな観察・実験を通して自ら科学的に考える能力を育成する。さらに，物事を判断する力を養い、自分の意見を発表する能力を育成する
【学びに向かう力、人間性等】
身近な現象を理解するための知識を習得することを意欲的に行い、何事も前向きに取り組む力を養う。自然界をどのようにして守っていくのかについて、社会で生かせる力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連性のある自然現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生命の科学	1．生物と光 2．微生物とその利用	a:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。 b:人の視覚における光の受け取りの仕方を学び、物が見えるということはどういうことかを知る。 c:微生物とはどういうものかを知り、その利用の仕方を調べる。	学習状況の観察 ノートの記述 小テスト・定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	探究活動 ノート 観察・実験ワークシート
2学期	物質の科学・光や熱の科学	1．材料とその再利用 2．光の性質とその利用 3．熱の性質とその利用	a:様々な材料の再利用の仕方を学ぶ。 b:光の性質を知ることにより、様々な現象を理解する。そして、導き出した考えを表現していく力を養う。 c:熱とはどういう性質を持ち、どのように扱うことがいいのかを学ぶ。また、実験の過程や結果を的確に記録、整理していくことを学ぶ。	学習状況の観察 ノートの記述 小テスト・定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	探究活動 ノート 観察・実験ワークシート
3学期	宇宙や地球の科学	1．身近な天体と太陽系における地球 2．自然景観と自然災害	a:宇宙に成り立ちを学び、地球というものの存在の尊さを理解し、知識を身に付けていく。 b:自然災害に対する様々な知識を身に着けて、それらの現象にどのように向き合えばいいのかの知識を身に着ける。事象や結果を考察し、導き出した考えを表現できることを目指す。 c:自然現象について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。	学習状況の観察 ノートの記述 小テスト・定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査	探究活動 ノート 観察・実験ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度